小笠原

編集兼発行
公益財団法人 小笠原協会
東京都港区海岸1-12-2
竹芝客船ターミナル2階
電　話 03－3432－4921
ＦＡＸ 03－3432－4487

振替貯金口座(郵便)
00190－9－64610
みずほ銀行芝支店
普通 3242428

# 令和3年度 小笠原諸島振興開発事業費予算について

## 振興開発事業費18億8千600万円

### Ⅰ 小笠原諸島の現況

今年度は、小笠原諸島振興開発特別措置法に基づく小笠原諸島振興開発計画（令和元年度から令和5年度）の3年目に当たり、計画期間の折り返しを迎えます。この間、計画に示す各種取組が着実に推進されてきた一方、本土との交通アクセスの改善や、昭和43年の日本復帰当初に建設された施設の更新、生活基盤の整備、島内産業の活性化など、依然として多くの課題も残されています。

また、貴重な自然環境の保護と適正な利用の両立を図り、地域の発展に寄与するエコツーリズムを推進するとともに、南海トラフ地震等に備えた新たな防災対策の強化を図るなど、地域の創意による自立的発展に向け、引き続き取組を進める必要があります。

令和3年度の振興開発事業は、このような背景を基に予算化されており、事業内容のより一層の充実を図っています。

### Ⅱ 振興開発事業の概要

◎事業費

18億8千600万円

国庫補助の対象となる令和3年度の事業費予算は約18億8千600万円となり、令和2年度の約19億8千400万円から約4.9％の減となっています。

#### 1 小笠原諸島振興開発事業費補助

令和3年度の振興開発事業では、住民生活の安定・福祉の向上、定住の促進を図り、小笠原諸島の自立的発展を目指すうえで根幹となる産業基盤や生活基盤施設等の整備を実施します。

各事業の概要は次のとおりです。

**①産業基盤施設等整備費補助**

ア　港湾整備　（都事業）

二見港では岸壁の改良工事を行い、沖港では泊地の浚渫工事を実施する。

イ　農業・水産業基盤整備

◆ほ場造成　（都事業）

農業用水槽をコンクリート製へ交換する工事を実施する。

ウ　農業・水産業振興

◆水産センター　（都事業）

無線局の鉄塔及び空中線用コンクリート柱の改修工事を実施する。

◆共同利用施設（都事業）

母島の漁船船員厚生施設整備を実施する。

エ　観光振興

◆自然公園　（都事業）

園地整備、歩道整備、自然環境のモニタリング調査や外来種対策を含む植生回復、自然ガイドの養成講習等を実施する。

◆都市公園　（都事業）

大神山公園の園地整備、急傾斜地対策、出入口整備を実施する。

**②生活基盤施設等整備費補助**

ア　道路整備

◆都道　（都事業）

災害防除、道路改築工事を実施する。

◆村道　（村事業）

橋梁補修設計及び道路の排水性舗装を実施する。

村道（排水性舗装道路）

イ　生活環境施設等整備

◆簡易水道　（村事業）

父島の配水管更新工事、母島の浄水場の改良工事を実施する。

◆し尿処理施設　（村事業）

父島処理施設の改良工事及び母島処理施設の改良基本設計を実施する。

◆浄化槽施設　（村事業）

浄化槽（1基）を父島に新設する。

◆小中学校整備　（村事業）

小中学校整備に向けた実施設計及び橋梁改良工事等を実施する。

◆保育施設　（村事業）

母島の保育施設整備に向けて、斜面対策工事や敷地造成、建物実施設計を実施する。

母島村民会館（保育施設）

◆砂防　（都事業）

時雨川の砂防対策工事を実施する。

#### 2 小笠原諸島振興開発費補助金

**①病害虫等防除**

ア　防除　（都事業）

ミカンコミバエ等再侵入警戒調査・アフリカマイマイ等の防除事業等を実施する。

イ　試験研究　（都事業）

指定病害虫及び一般病害虫防除の試験研究を実施する。

**②診療所運営　（村事業）**

診療所の管理運営、機材の確保等の整備運営を実施する。

**③各種調査　（都事業）**

観光振興事業として、外国人旅行者の実態やニーズを調査する。

# 第98回 小笠原諸島振興開発審議会が開催されました（21・6・29）

審議会委員
（小笠原協会理事）小暮 実

令和3年6月29日、第98回小笠原振興開発審議会が開催されました。昨年に引き続き、新型コロナ感染症拡大防止のためWEB会議での開催となりました。

会議冒頭、国土交通省の渡辺猛之副大臣、東京都多羅尾光睦副知事から挨拶がありました。

議事では、議題（1）として国土交通省の担当者より令和2年度に小笠原諸島の振興開発に関して講じた施策及び東京都より定住人口や農林漁業などの目標設定状況と進捗状況について説明があった後、質疑応答となりました。

委員からの質問では、航空路の検討状況や津波防災対策、再生可能エネルギーの導入状況に関して質問があり、国からは航空路協議会で検討していること、防災に関して副村長からは施設の老朽化に伴い設置できるところから高台に移転設置していきたいとの回答がありました。

また、太陽光発電について、塩害など島特有の課題はあるが、東京都とも連携して母島では再生可能エネルギー100％で賄えるよう取り組んでいると村から報告がありました。

その他委員からは、児童生徒数の推移、島の新規就農者の状況や海洋ゴミの問題など、質疑が続きました。

質疑応答の終了後は、議題（2）その他として「新型コロナウイルス感染症の拡大を受けた小笠原諸島の取組」について国土交通省から現状説明、続いて海上保安庁より「小笠原諸島周辺海域における海上保安体制の強化」について、令和3年2月に小笠原海上保安署に新たに巡視船を配備したことが報告され、村からは、世界遺産登録から10年が経過してこれまでの取組などについても報告がありました。

最後に、中原国土政策局長から「今年は小笠原にとって世界自然遺産登録10周年という節目の年である。これまでエコツーリズムなどの取組により産業振興が図られてきたが、このコロナウイルスで状況が変わってしまった。アフターコロナに向けては、都や小笠原村と十分連携しながら振興開発していきたい」との挨拶があり、審議会が閉会しました。

# オリンピック聖火リレー 小笠原村（父島・母島）

東京2020オリンピック聖火リレーが小笠原村で実施されました。

【父島】
7月16日14時15分～
水産センター～大神山公園おまつり広場

【母島】
7月16日14時55分～
ロース記念館～沖港

それぞれ3名で聖火リレーが実施されました。

父島

母島

# 小笠原協会 役員会開催

3月に定例理事会を開催し、令和3年度の事業計画並びに収支予算が決定されました。

続いて、5月に定例理事会、6月に定時評議員会を開催し、令和2年度の事業報告並びに収支決算報告が承認されました。なお、定時評議員会では評議委員、理事および監事の任期満了にともない、別掲のとおり、新しい理事1名と評議員2名が選任されました。その後7月に臨時理事会を開催し、渋井信和氏が会長に再任されました。なお、理事会、評議員会は新型コロナウイルス感染予防のため、全て書面評決での開催となりました。

## 公益財団法人 小笠原協会 新役員

会　長　渋井　信和
理　事　岡部　一郎
〃　小暮　実
〃　谷川　浩也
〃　森下　一男
〃　森田　裕一
〃　若澤　美義
監　事　鈴木　茂
〃　大河原丈晴
評議員　石井　正則
〃　稲垣　政孝
〃　菊池　武博
〃　佐藤　洋美
〃　寒川　藏雄
〃　田代　義一
〃　中村　益美
〃　水野　勇
〃　若林　和彦
〃　池田　望
〃　鈴木　高弘

## 新しく選任された役員

【新任理事】
若澤　美義

〈略歴〉前小笠原協会評議員
元神奈川県三浦市役所
理事兼政策部長
㈱三浦海業公社
専務取締役

【新任評議員】
池田　望

〈略歴〉昭和51年
小笠原父島へ移住
昭和52年～55年
小笠原農業協同組合
平成31年　小笠原村議会議長就任、現在に至る

鈴木　高弘

〈略歴〉元山形大学教育学部付属　中学校　講師
元東京都立小笠原高等学校教諭
元東京都立足立新田高等学校　校長
元学校法人専修大学付属高等学校　校長
内閣府教育再生実行会議委員

## 退任された役員

理事
菊地　輝雄　菊池　勝貴
岡　小枝子
評議員
鯰江　満　若澤　美義
佐々木　日出子

## 2021 小笠原諸島世界自然遺産登録 10周年記念

# 小笠原訪問ツアー

**ツアー実施期間**　令和3年10月29日（金）から11月3日（水）までの5泊6日
（民宿・ホテル等に3泊）　※延発コースは実施しません

**イベント企画**　公益財団法人　小笠原協会（Eメール：kzho@ogasawarak.jp）

◎本年の交流会は新型コロナウイルス感染拡大防止のため父島・母島とも実施しません。
◎本年の小笠原訪問ツアーはマスク着用、3密を避けたフリープランとなります。
◎小笠原諸島渡航に際しては、おがさわら丸乗船者に実施しているPCR検査を必ず受検していただき、陽性反応が出なかったことをご確認の上、ご参加ください。
◎2回のワクチン接種を終えられた方についても、おがさわら丸乗船者に実施しているPCR検査を必ず受検ください。　※詳細は小笠原村ホームページ掲載の来島者向け情報を参照
◎大神山神社の例大祭は神事のみ実施し、神輿、相撲大会等の実施はありません。
◎今後の感染状況をみてのご案内は、ホームページ等でお知らせいたします。

**主催・予約受付**　小笠原海運株式会社　（東京都知事登録2-2135）　予約はお電話で！
☎03-3451-5171　fax 03-3451-4522

**後援予定**　小笠原支庁、小笠原村、小笠原村観光協会、小笠原母島観光協会

**募集期間**　令和3年8月30日（月）～10月8日（金）

**募集人員**　150名　※期間内に募集人員に達した場合は、受付を締切ります。

**参加対象**　旧島民及び賛助会員、小笠原を愛する人

**参加費**　こども料金は、小学生の適応となります。（単位：円）

| | 宿付き | | 乗船券のみ | |
|---|---|---|---|---|
| | 大人 | 子供 | 大人 | 子供 |
| 旧島民 及び 協会賛助会員 | 65,500 | 40,000 | 往路：19,600　復路：（注） | 往路：9,800　復路：（注） |
| 上記以外 | 69,500 | 42,000 | 【一般料金】 | |

（注）復路の乗船代金については未定の為、後日小笠原協会ホームページでお知らせします。

ツアーの基本等級は2等和室のみとなります。
2等和室より上等級のグレードアップをご希望の方は、予約時にお申し出ください。

◎宿付きコース参加費には、竹芝・父島間の等級別往復運賃と3泊の宿泊代（朝食3・夕食3付）及び旅行傷害保険料等が含まれます。また、宿泊を一人で一室使用の場合は、シングルチャージ9,900円が発生します（3泊分）。
◎宿について
　ⅰ 宿付きコースは人数に限りがあります。なるべくご自身で宿を予約されるようお願いします。
　ⅱ 宿付きコースの宿泊先は、小笠原海運にての手配となり、お客様で宿をお選び頂けませんのでご注意ください。また、父島の同じ宿に3泊のみの手配になります。
　ⅲ 母島に一泊以上宿泊される方は、宿をご自身で手配され、乗車券をご予約下さい。
◎航海中の食事代、島での昼食代及び父島・母島間の運賃は自己負担です。
◎船賃無料の未就学児で宿泊施設ご利用の場合は、現地で別途宿泊料が必要となります。
◎乗船券のみのコースの方は、宿泊代は自己負担となります。
◎お申し込み後のキャンセルは、キャンセル料金が発生することがあります。
詳細は小笠原海運　☎03-3451-5171にお問い合わせください。

※ツアーのお申込み、お問合せは、小笠原海運（株）☎03-3451-5171にお願いします。
小笠原協会での予約受付はしませんのでご注意ください。

## 「私と小笠原」第4回

今回の執筆者は第10代小笠原支庁長の滑川進さんです。
なお、本稿は、自薦・他薦いずれも大歓迎ですので皆さまからの投稿をお待ちしております。

### 第10代小笠原支庁長　滑川　進

私は、十代目支庁長として一九八六～一九八八年の二年一ヵ月間、島に赴任していました。自然と人に魅せられて、島の虜になった夢のような時間でした。三十数年前のことです。

当時、日記をつけていました。今もよみがえる彩りの日々、その一部を選んでみました。

（注）日記は※印で区分けしております。

※　村内の娯楽施設といえば、飲み屋さんぐらい。テレビは、NHK BSがようやく視聴できるようになったばかり。ビールの一人当たり消費量は日本一とかで、リフレッシュには飲むしかないようだ。

※　おがさわら丸が入港するたびに都庁各局や、国の機関などの出張者の歓迎会。
　出張者の中には、観光半分の人も見受けられる。それはそれでいいではないか。島にお金を落としていくのだから。

※　支庁長公舎は、大村地区から清瀬都住へ行く途中の山中にある。背後は雑木林が上の方まで。庭にはバナナやパパイヤ、グァヴァ、タコの木々が雑然と生い茂っている。垣根は色とりどりのハイビスカス。これが一年中咲き乱れているのだ。

夜あるいは休日にふらりと訪れる島民や職員たちが多い。来れば早速酒盛り。
　公舎は「お化け屋敷」ともいわれている。来島当初は気味が悪くて夜は戸を閉め切って寝ていた。ある時、カーテンが揺れ動いている。誰か隠れているのかと緊張した。カーテンをめくって見ると、ヤモリが2匹遊んでいた。家の天井、トイレなどにヤモリが走り回っている。その甲（カン）高い鳴き声が闇を引き裂く。「ケーッケッケッ・・・」
　ある夜、菊池滋夫漁協組合長ら大勢が、3次会で我が家になだれ込んできた。早速酒盛り。しばらくしてこのヤモリの鳴き声、「支庁長のことを笑っているんだよ」と組合長。
　真夜中、家のすぐ外で人の気配がする。落ち葉を踏みしめる足音が聞こえるのだ。そして寝室を覗かれているような気配。何者か確かめるため必死の覚悟で外に出た。誰もいない。怪訝な思いでしばらく佇んでいた。
　再び「カサッ、・・カサッ、・・」大きな「ヒキガエル」が落葉の上を歩いていた。

※　三回目の母島出張。漁船をチャーターして海上から島を視察する。海からすぐに絶壁になっているところが目につき太平洋の荒波の中に人を寄せ付けないような険しい島の印象。
　北港近辺で漁業資源調査と称して釣りをする。色とりどりの大きな魚がつれた。カッポレ、カンパチ、チギ（写真）
　夜、佐藤直人氏宅を訪ねる。早速ビール。母島唯一の雑貨店の前田さんが途中から加わる。二人から母島の状況を聞く。

　佐藤さんは返還後母島最初の移住者のひとりとして昭和四七年に来たという。三歳のとき強制疎開させられ。長じて静岡で高校教師。その教師の地位を投げ打っての帰島だったと。

※　佐藤さんから鯨のオノミのブロックの差し入れがあった。これが実に旨い。鯨肉はこんなに旨いとは知らなかった。しばらくは酒の肴に事欠かない。
　母島には周辺で取れるザトウクジラを解体する工場がある。先日見学した時、巨大な仮構で捌き人が人間の背丈の倍以上もある大型の長刀で鯨を解体していた。
　ところが翌年、商業捕鯨が禁止となりこの工場は閉鎖された。さらにその翌年（一九八八年）から、ホエールウォッチングが始まった。

※　年度末が近づいて、島内の至るところで工事をしている。大型補正予算（一九八七年度）が組まれ公共事業費が大盤振る舞いとなった。
　小笠原にも、都営住宅の一間増築（母島）、大修繕（父島）、そして道路工事費等として、通常予算に六億円ほど追加された。土建会社はフル回転。労務者が多数来ている。島の経済が活況を呈するのは嬉しいが何時までも続くわけではない。
（後から考えるとバブル経済のはしりの時期だった）
　今、ビーデビーデの木が赤い花を咲かせている。有名な大木が支庁の入り口にある。支庁を建替えるとき枯らさないように細心の注意を払って植え替えたという。
　小学校の卒業式の案内状の冒頭にこんな書き出しがあった。
「ムニンディゴ（ビーデビーデのこと）の開花とともに小笠原にも春がめぐってまいりました・・・」

※　小中高連合運動会があった。それぞれの生徒数が少ないので小中の校庭で合同で行われた。
　最初は徒競争で、小学校一年生から高校生まで全員。レースの度に出場者の名前が放送される。
　大人チームも入った職場対抗リレーに中学生Bチームで私の次男和也が出た。
　彼は二学期から小笠原中学校に転校してきたのだ。島では十分な教育が望めないと、子女を内地（本土のこと）の学校に行かせている人がいる。そんな中での転校だったので話題になったらしい。三学年の生徒は男子三人、女子四人だったところに彼が加わって計八人の学級となった。
　彼は、小笠原中学校卒という経歴を得て、内地の高校へ進学した。
（彼は現在、広島市で弁護士事務所を開設している）

## 小笠原アイランズ農業協同組合 設立のご挨拶

代表理事組合長　門脇　脩

本年5月24日、小笠原地区の農協は、東京島しょ農業協同組合より新設分割規定によって分離独立し、「小笠原アイランズ農業協同組合」として再出発いたしました。
　小笠原地区においては、昭和47年、戦前の豊かな農業の復興を目指して初めての農協が設立されました。ジャングル化した農地や未整備のインフラ等、大変な環境の中での船出でありました。
　その後、世の中の流れもあり、伊豆諸島の島々の農協との合併農協を経て、この度、地域での協同意識を存立の基盤とする農業協同組合の原点に立ち返るという趣旨のもと、小笠原地区単独の農協として生まれ変わった次第です。
　今回の農協の新設にあたりましては、地域の皆様をはじめ、小笠原関係者の皆様及び関係諸機関の皆様から多大なるご支援を賜りました。厚く御礼申し上げます。
　われわれ小笠原アイランズ農協役職員一同、小笠原の特異な歴史と遠隔離島という環境の中でも地域農業の振興に尽力してこられた諸先輩方の労苦にあらためて感謝の意と敬意を表するとともに、小笠原農業の更なる発展に努力、精進して参る所存です。

## 小笠原村より 新型コロナウイルス感染症対策支援寄附金のお礼

新型コロナウイルス感染症拡大に伴う、村独自の感染予防対策や生活支援対策などの事業に活用させていただくための寄附金の募集を、令和2年6月から令和3年1月まで行いましたところ、会員の皆様をはじめ、村内外の皆様からも多くのご寄附をいただきました。
　皆様の温かいご支援に感謝し、心より御礼申し上げます。

**【寄附の状況】**
110件
3,532,000円

小笠原村

# 中吉丸奇跡の漂着と小笠原の歴史 ▽その一

小笠原村役場総務課　セーボレー孝

## 南海の遺産

はじめに、本記事は「都政新報」へ令和2年5月に掲載されたものです。計6回分を数回に分けて掲載させていただきます。

私の先祖ナサニエル・セーボレーは、アメリカ式捕鯨が太平洋で最盛期を迎えようとしていた1830年に、当時無人島でボニン・アイランドと呼ばれていた小笠原諸島の父島に4人の欧米人と15人のハワイ諸島民らと移住し、寄港する捕鯨船等の船舶に水や食料などを供給して生計を営んでいた。

1853年、ペリー提督の小笠原来航をきっかけに江戸幕府、そして明治政府による開拓、太平洋戦争を経て米国による統治と、ナサニエル達は歴史の荒波を生きた。その数奇な歴史に興味を持ち調べたところ、ナサニエルの日記や手紙、ペリーが残した星条旗などは、歴史の渦中で喪失したり、苦渋の選択から焼却したりしたため、史実を語る品がほとんど残っていないことを知り、残念に思った。

しかし、のちの村教育委員会の調査から、岩手県陸前高田市立博物館に江戸時代の漂着船とナサニエル達にまつわる品々が、代々大切に受け継がれ、保存されていることが分かり、息子（当時小2）を連れて見に行き、感銘を受けた。その品々は、今から180年前に、ナサニエル達が父島に漂着した「中吉丸」の乗組員に贈った餞別（せんべつ）品である。

「中吉丸」は350石（53トン）位の弁才船。五十（いさ）集（ば）荷物を積み、常州那珂湊（茨木県ひたちなか市）へ向けて奥州気仙郡小友浦（陸前高田市）を出帆（しゅっぱん）したのは1839年11月。東北沿岸を南下して10日後、茨城の鹿島沖合で大時化に遭遇し、船は押し流されて浸水しはじめた。積荷の一部を捨て海水を汲み出したが、ついに帆柱まで切る状況になった。12月に入り陸地を見失い、碇（いかり）を引き垂らして漂流した。寒中の上、身心ともに疲れ果て、飲み水が切れた時は助かる見込みがないと思い、一同髪を切って諸神に捧げ、天水の恵みを祈った。

弁財船の模型とセーボレーさん

**セーボレー・たかし**
小笠原村出身。村役場に勤務する傍ら、最初に島に移住したアメリカ人の子孫として、先祖の歴史を今に伝える。平成30年3月村役場を定年退職。

---

## 小笠原海上保安署に初の巡視船「みかづき」配備

小笠原海上保安署

令和3年3月、小笠原諸島周辺海域を管轄する小笠原海上保安署に巡視船が配備されたので、紹介させていただきます。

### 配備に至る経緯

小笠原諸島周辺海域においては、平成26年9月から翌年1月にかけて、多数の中国サンゴ漁船が確認され違法操業が行われました。この海域を管轄する小笠原海上保安署には、監視取締艇「さざんくろす」1隻が配備されていましたが、「さざんくろす」は全長9メートルと船体も小さく、この1隻で多数の中国サンゴ漁船に対応することは困難でした。

監視取締艇「さざんくろす」

幸いにも、日本全国から巡視船が応援に駆け付け、各関係機関と連携して中国サンゴ漁船に対して取締りを強化したことにより事態は収拾しましたが、現在も予断を許せない状況が続いております。そこで、小笠原諸島周辺海域における違法操業漁船等に適切に対応するとともに、周辺海域における領海警備体制を確保する等、離島・遠方海域における業務執行体制を強化するため、小笠原海上保安署に最新鋭の巡視船「みかづき」（180トン型）全長約43メートル、全幅7.8メートルが配備されることとなりました。

小笠原海上保安署に配備された巡視船「みかづき」

### 「みかづき」の由来

人に名前があるように、船にも名前があります。海上保安庁の船舶には、船名と記号がつけられていて、船名は、配属地に親しみやすいように付与標準に沿って命名され、記号は、総トン数等によって決まります。巡視船みかづきはPS型（Patrol vessel Small）と呼ばれ、PS型の船名の付与標準は山又は海岸の名称から決められます。この、「みかづき」と言う船名は、一年を通して、水平線に沈むきれいな夕日や満天の星空を見ることができる、父島の名所「三日月山」からとって名付けられました。

三日月山と巡視船「みかづき」

### 「みかづき」の業務内容

巡視船みかづきは、小笠原諸島周辺海域における違法操業漁船等の取締りだけでなく、国境警備、海上犯罪取締りの治安確保や海難救助等の生命を救う業務に従事します。また、自然災害時には、応急活動を実施するとともに、地方行政機関等の関係機関との連携強化に努めており、小笠原村の方々への支援を行う等により、皆様の安全・安心に貢献することとしています。みかづきの紹介はこれで最後になりますが、これからも小笠原の海を守る巡視船みかづきの活躍にご期待ください。

---

**朝倉書店出版**
## 『世界自然遺産小笠原諸島 —自然と歴史文化—』
菊地 俊夫（東京都立大学）

東京都立大学小笠原研究委員会編『世界遺産　小笠原諸島－自然と歴史文化－』（定価 3,300 円）が朝倉書店から 2021 年 3 月 1 日に出版されました。

本書の基本的なコンセプトは、地形・地質が大地の基盤をつくり、その大地に気候や水が活力を与え、動植物を育み、それらを舞台として人びとの居住や文化が展開するという一連のストーリーを描くことにあります。

加えて、世界自然遺産としての小笠原諸島の啓蒙に役立てることが基本的な出版目的です。

本書では，小笠原諸島における地形・地質と大気・水環境，および生物に加え，地域の歴史文化・産業の内容をバランス良く構成し，世界自然遺産地の小笠原諸島の全体像をやさしく解説しております。また、本書は地形・地質や気候・水環境，および生物・生態や歴史文化・産業などのテーマをいくつかのトピックで「俯瞰する」の章と，それぞれのテーマに関連した「エクスカーションガイド」で構成されております。

本書の大きな特徴の１つは、どこから読み始めても小笠原をよく知ることができる構成になっており、そのため、興味のある章から読み進めることができます。

また理解を深めようと思う章を重点的に読むこともできます。そして、本の中で学び知った事象を実際に観察することで、本書の内容の理解がより深まるようにもなります。是非ご覧ください。

---

## 皆様 ありがとうございました
～令和3年3月1日から令和3年5月31日まで

（敬称略・順不同）

▼個人賛助会費

▽五口　渋井 信和　谷川 浩也
▽四口　秋山 俊行
▽三口　星野 勢　英 辰次郎　神藤 信之　松井 健一　滑川 進　三原 實　川口 敏一　隠田 房藏　稲垣 政孝　古橋 雷太　相馬 観成　森田 裕一　大島 洋子　齋藤 邦雄　谷口 哲己　岡 小枝子
▽二口　佐藤 茂美　峯元 啓光　泉澤 弘幸　稲本都志彦　川島フサ子　小島 章弘　渋井 洋子　村田 憲一　山口 禧子　荒井 公子　米澤 義正　菊池 忠彦　曽根 博義　竹内 浩美　矢野 末義　海老根鐵男　篠崎 弘征　杉野 信夫　小暮 実　阿部 孝　中堀 康弘　石原 俊　内田 峰夫　川島 隆之　名倉 衡　久保寺博久　栗本 道雄
▽一口　森 美香　万城目 稔　鈴木 雄司　中村 充宏　森 英樹　稲垣 賢　岩本 聡志　岩本 潤子　宇佐美秀幸　鵜沢 保雄　大平マイケル　加藤 正樹　川野部裕之　小橋 弘道　小林 昌市　三枝 佳紀　佐藤嘉久男　佐藤 勉　椎野 雅子　鈴木 憲治　袖山 豊明　田岡 克己　鶴崎 隆一　中嶋 奨　中戸川哲哉　成瀬 優　長谷川聡子　廣清 輝一　宮田 靖子　明石 栄次　阿部 信弘　飯田 福実　石川 咲生　五日市雄紀　伊藤 修一　伊藤 誠　稲垣 稔　井上 敦夫　大川よし子　大熊志津子　大島 文彦　太田 武光　大滝 茂美　荻原 勉　奥原 正人　小澤 道子　貝發 秀一　柿沼 正晃　加藤 春美　金村 貴永　金村 夕香　椛島三枝子　川北 和徳　川田 裕士　河鰭 一誠　木原 修　木原多恵子　櫛田 眞昭　楠美 正勝　小泉 敦男　駒井 政公　小峰 武　三枝 眞子　三枝 弘育　榊原 邦彦　坂田 俊行　澤 哲也　澤田 實　椎名 厚夫　椎名 智代　島崎 勉　島崎 広光　清水 一雄　清水 英明　志村 尚樹　下澤 久恵　荘子 利枝　荘子 敏光　新谷 將夫　菅谷 治喜　関口奈津子　銭谷 正勝　竹割 康夫　田澤 正史　玉木 純雄　田村 三男　對馬 秀子　栃木みよし　登山 邦雄　成田 惣一　成田 安子　長谷川 馨　長谷川昌伸　長谷部マチ子　疋田 壮一　坂口 京子　広瀬 敦子　広瀬 孝雄　黛 尚見　宮澤武二郎　村野 朋光　村山 政雄　矢島 利紀　山川 泰二　山木由姫路　山口 玲子　山﨑めぐみ　山田 正一　横倉 康明　渡邊 啓二　渡辺 司　五十里圭紀　生駒 篤史　生駒 青波　石井 靖英　井出 和夫　上野 裕代　遠藤 貴則　遠藤キャサリン　遠藤蘭　岡本 数春　佐藤 恒久　篠原 弘奈　中田 智子　成瀬 悠子　逸見亜希子　森 俊一　矢島 温子　矢島 洋一　山内 隆夫　渡辺 昭　石井三千雄　熊沢 淳也　菅 美良　野村 成人　山崎 泰志　浅沼 更企　浅沼 俊夫　安部 哲人　荒舩 正三　安藤 英二　飯塚 優子　飯塚 雄三　飯塚 吉喜　石井 良則　石山 進　一瀬 秀樹　伊藤 政行　入江久美子　岩本 陽児　大澤五百子　太田 健一　尾田 俊雄　小田 知子　金井麻衣子　金刺美代子　金刺 雅道　国松えり子　国松 修　郡 彪　郡 百代　小島 泰史　小杉 慶子　古味 宏之　小山外美子　斉藤 忠博　坂部 大　杉田 裕志　鈴木絵美子　鈴木 可久　須藤 栄治　清宮眞知子　髙石 善久　髙島 幸夫　田代 義一　田中 康子　田辺 晴久　谷 貢　田原 彰乃　玉井さくら　田巻 克彦　田巻 優子　田村 槙恵　天明 孝志　徳永 晃一　中島 斉子　中島 徳　中島 隼人　中島 弘道　羽下 忠男　浜川貴美隆　春川 浩一　板東 和子　藤島 拓実　藤本 武文　正井 彰俊　益戸 祐司　松木 一雅　宮﨑 仲子　三好 里実　村田 能子　森下 美津　森永 諭　山田 孝弘　山田 雅文　横瀬 邦雄

渡邉　勇　阿部　千智
池田　孝子　石井　正則
市川　文次　市川　之
今井　健夫　奥山　芳徳
小倉　直子　鎌田　嘉彦
菊田　薫　菊池　弘毅
工藤　芳正　慶野　義尚
小平　昌男　後藤　乾一
小松　茂　齊藤　行明
佐々木美加　佐藤　充
篠田　和枝　杉本　友子
鈴木　康一　高橋由紀子
中川　淳　長島　俊彰
七井　正敏　成田　浩
濱邊　健志　古川　治夫
細井　優　山田　康彦
吉田　俊宏　吉田　祐佳
浅沼　聡　浅沼　幸子
阿部　彰良　石田　俊明
石田　百世　内田　博貴
大槻　智之　岡本　恭広
奥秋　彰一　小野　康夫
片山　進　金子　健一
菊池　アサ　北山　朋裕
草柳　明美　熊坂　文夫
小林　哲　佐々木裕史
佐藤　忠義　澤木　順子
澤木　淑人　城下　治子
新見　智　新見麻衣子
関　雅子　田中　俊行
田中　隆三　堤　清樹
富田　清浩　原田　知香
平山　欽一　平山　直美
藤本　功　増山　一清
水野　勇　皆尾　幸司
森　康正　山田　真
吉田啓以子　青木　敬
青木奈都子　赤石　一昌
荒木　信之　大平　京子
奥原　芳雄　金川　美代
加山　次郎　菊地　杏子
菊池　武博　倉田　信
倉田　洋子　佐々木哲子
佐々木英樹　杉山　節子
瀬川　富久　関根　正夫
滝沢　恵美　辻　トメ子
徳田　匡泰　永井陽一郎
中村　豊　新関　厚
袴田　愛　袴田　知宏
林　眞一郎　平田　章
平塚　好則　福原　誠志

箭内　浩彌　横山　辰巳
吉川　修　米田美紗緒
一木　重夫　小笠原明宏
川瀬　航司　瀬堀　エル
佐々木日出子
鈴木　謙寿　鈴木　保夫
染谷　俊汰　染谷　太
髙村あゆみ　田口　啓子
竹越麻酉子　多田　昭子
田中　淳一　長峯　圭助
西浦　利加　藤田かおる
藤田　和紀　前田　珠代
宮尾　杏子　宮尾麻衣子
山岡　栄治　山岡みさ子
吉川　尚志　青木　愼一
浅沼　幸恵　浅沼　孝之
小豆畑　淳　荒川　博明
安藤　重行　池田　有
伊藤　裕子　乾　幸子
今泉　貴裕　岩川　孝志
梅澤　淳　太田　勝政
木本　孝子　五味　金臣
榊原　玉恵　榊原　康夫
佐藤　里奈　高橋　三弥
中村　恭子　延島　冬生
渡辺　英紀　渡辺　通宏
小豆畑純子　天野　真治
荒川　博　榎本　泰雄
大久保勝司　加藤　克子
金田　亘　斎藤　毅
島方　優　髙井　博英
俵　真未　弦巻　悠也
深川　久夫　右田　裕子
宮久真規子　依光　桃子
雨宮　博雄　岩本　園子
江尻　康弘　齋藤　健
鈴木千恵子　竹久　茂伸
綱　作子　戸所　静夫
増井　武　松隈　純
水落　一穂　皆川　重次
宮川メーリ・ヂュン
村松　孝　渡辺　圭子
伊藤　央樹　上野　俊郎
長田　眞作　菊地　敬子
小路　彩子　齋藤　憲明
山海　保　三瓶　清晴
辻下　勝己　辻下奈緒美
辻下　廉　坂内　哲也
山入端キヨ子
鷲津　数聖　安蒜　正夫
石田　立治　宇賀神秀夫

河原　勇樹　小谷　弘夫
木村ネルソン
小林　孝　高橋　義勝
高山　和敏　中林千恵子
ハイノマリウス
星野　宏充　横尾　篤志
若澤　美義　飯田　純子
竹内　成弘　青山　千津
青山　ゆう　飯沼　由美
牛窪眞理子　加藤　保佳
神谷　武史　唐澤　正博
熊谷　隆　小林　実
小本　創　佐藤ひろみ
下地　洋一　菅原　澪紀
袖山　直樹　出口　智広
中村　博信　早見　英嗣
古谷　洋子　矢崎芙美子
池田　隆雄　神鳥亜希子
斉賀　孝一　清水　政雄
田中　景子　伊藤　正人
牛山ななほ　大森　國裕
奥山　雅敬　片寄　陽平
菊池はな子　小林　正至
佐藤　信秀　鈴木　一史
玉井由紀則　中植　裕美
二宮　義之　前田　豊
三ツ谷作次　山口　順治
山越　茂樹　稲生　有香
稲垣　強　岩田　和子
老沼　宏二　川田　弘子
佐藤　洋美　佐藤　洋子
高師美恵子　中森ふくよ
矢花　薫　山口　広美
山中統紀子　阿部　秀樹
荒牧　勝幸　荒牧　公加
荒牧　大我　坂本優美子
鈴木　勝美　髙橋　恵子
高橋　保夫　高柳　京子
洞庭　勝男　藤井　尚
眞内　敏行　荻野　雅美
竹下　哲朗　福岡　康平
岩瀬　雄介　杉山　真也
武市　定雄　林　安代
藤井　秀一　藤田　理子
藤田　まや　藤田　裕二
水田佳代子　荒牧　正子
近藤　匠　今井　寛治
今井美代子　佐々木明美
杉　孝一　宅間　清昭
福澤　彰男　岡野　貞二
栗林　敏　松岡　克次

尾沼　勝利　五ノ井市朗
岡本　良一　木村　陽子
佐藤　永隆　中村佐保子
安井　忍　桐林　真人
齋藤　武　齋藤　洋子
髙橋　孝純　千葉　繁雄
千葉はるか　登坂　洋介
張本　達宏　浅野　堅一
田中のぞみ　吉田　不曇
池田　衿子　榎澤　幸広
後藤　美佳　松永宣一郎
弓野よし江　新井　榮二
上部　健一　河野　正明
今野　愛子　今野　照雄
杉本　隆幸　富山　香子
富山　裕司　中嶋　弘
中嶋　好枝　林　道男
福原　弘子　秋葉　穂
川手　善昭　長岡　芳正
森内真理子　吉野　裕子
吉野　美咲　中村　咲子
宮　武彦　佐々木幸雄
渡邉　優子　柴内　康吉
藤代　知子　森内　春香
橋本　敦子　橋本　敦史
浅蔭　章代　川島　直之
安田純一郎　押切　重洋
小濱　哲二　内田　愛佳
古屋　知子　山田　紫織
秋元　篤司　髙橋　和志
小川智津子　岸　拓矢
岸　貴美子　楠　美帆
平沢　甲一　福澤　知子
山崎由美子　加藤　史子
青島　泰子　遠藤ともえ
辻下よし美　村瀬　清之
渥美ひさよ　森　善子

山内　徳子　山内　悠司
平澤　悠子　今村　壮壱
今村　祐可　新川　彰
中西　宏　松賀　彩佳
神田　豊　長倉　正治
上村　稔　溝田　敦子
青木　浩之　石川　由子
石田　拓也　石田　舞子
石原　光　平澤　智子
荻原　正幸　池田　司朗
池田　直美　鈴木　信子
植松　光代　若澤　勲
小野寺一彦　池端　薫

▼法人賛助会費
▽五十口（三十万円）
硫黄島産業株式会社
▼寄付金
岩楯　和也（十万円）
森田　裕一（一万円）

**万が一、未掲載の失礼がありましたら次号掲載しますのでご一報ください。**
なお、新規入会者については、次号掲載させていただきます。

**訃　報**

謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

浅沼　クニ子　様　94歳
令和2年11月1日ご逝去
母島出身

市川　道夫　様　90歳
令和3年3月8日ご逝去
旧島民

小高　常義　様　83歳
令和3年7月1日ご逝去
母島在住

**令和３年７月１日現在**
（　）内は前年同月

住民基本台帳登録者数

| | | |
|---|---|---|
| ○世　帯 | 1,507 世帯 | （1,495 世帯） |
| 父　島 | 1,232 世帯 | （1,221 世帯） |
| 母　島 | 275 世帯 | （274 世帯） |
| ○人　口 | 2,584 人 | （2,607 人） |
| 父　島 | 2,127 人 | （2,157 人） |
| 母　島 | 457 人 | （450 人） |

**令和３年６月気象状況**
（　）内は前年同月（父島）

| | | |
|---|---|---|
| 最高気温 | 30.6 ℃ | （32.1 ℃） |
| 最低気温 | 22.5 ℃ | （24.2 ℃） |
| 平均気温 | 26.7 ℃ | （27.8 ℃） |
| 平均湿度 | 89 % | （87 %） |
| 月降水量 | 304.0 mm | （12.0 mm） |

（気象庁　ホームページ）

**令和３年６月中の来島者数**
（　）内は前年同月（父島）

| | | |
|---|---|---|
| 定期船 | 1,159 人 | （182 人） |
| 観光船 | 0 人 | （0 人） |

## 小笠原航路時刻表
（令和3年8月～令和3年12月）

ハートロック（千尋岩）

| 運航月 時　刻 | 東京発 11:00 | 父島着 11:00 | 父島泊 — | 父島泊 — | 父島発 15:30 | 東京着 15:30 | 父島泊数 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 8月 | 3 (火) | 4 (水) | — | — | 4 (水) | 5 (木) | 父島折り返し |
| | 6 (金) | 7 (土) | — | — | 7 (土) | 8 (日) | |
| | 10 (火) | 11 (水) | — | — | 11 (水) | 12 (木) | |
| | 13 (金) | 14 (土) | — | — | 14 (土) | 15 (日) | |
| | 17 (火) | 18 (水) | — | — | 18 (水) | 19 (木) | |
| | 20 (金) | 21 (土) | — | — | 21 (土) | 22 (日) | |
| | 24 (火) | 25 (水) | — | — | 25 (水) | 26 (木) | |
| | 東京発 11:00 | 父島着 11:00 | 父島泊 — | 父島泊 — | 父島発 15:00 | 東京着 15:00 | 父島泊数 |
| | 27 (金) | 28 (土) | 29 (日) | 30 (月) | 31 (火) | 9/1 (水) | 3泊 |
| 9月 | 2 (木) | 3 (金) | 4 (土) | 5 (日) | 6 (月) | 7 (火) | |
| | 8 (水) | 9 (木) | 10 (金) | 11 (土) | 12 (日) | 13 (月) | |
| | 15 (水) | 16 (木) | 17 (金) | 18 (土) | 19 (日) | 20 (月) | |
| | 21 (火) | 22 (水) | 23 (木) | 24 (金) | 25 (土) | 26 (日) | |
| | 27 (月) | 28 (火) | 29 (水) | 30 (木) | 10/1 (金) | 10/2 (土) | |
| 10月 | 3 (日) | 4 (月) | 5 (火) | 6 (水) | 7 (木) | 8 (金) | |
| | 9 (土) | 10 (日) | 11 (月) | 12 (火) | 13 (水) | 14 (木) | |
| | ※1 15 (金) | 16 (土) | 17 (日) | 18 (月) | 19 (火) | ※1 20 (水) | |
| | 22 (金) | 23 (土) | 24 (日) | 25 (月) | 26 (火) | 27 (水) | |
| | 29 (金) | 30 (土) | 31 (日) | 11/1 (月) | 11/2 (火) | 11/3 (水) | |
| 11月 | 5 (金) | 6 (土) | 7 (日) | 8 (月) | 9 (火) | 10 (水) | |
| | 11 (木) | 12 (金) | 13 (土) | 14 (日) | 15 (月) | 16 (火) | |
| | 19 (金) | 20 (土) | 21 (日) | 22 (月) | 23 (火) | 24 (水) | |
| | 26 (金) | 27 (土) | 28 (日) | 29 (月) | 30 (火) | 12/1 (水) | |
| 12月 | 3 (金) | 4 (土) | 5 (日) | 6 (月) | 7 (火) | 8 (水) | |
| | 10 (金) | 11 (土) | 12 (日) | 13 (月) | 14 (火) | 15 (水) | |
| | 17 (金) | 18 (土) | 19 (日) | 20 (月) | 21 (火) | 22 (水) | |
| | 23 (木) | 24 (金) | 25 (土) | 26 (日) | 27 (月) | 28 (火) | |
| | 29 (水) | 30 (木) | 31 (金) | 1/1 (土) | 1/2 (日) | 1/3 (月) | |

※1　館山寄港予定、往路父島着・復路東京着ともに 40 分遅延到着（予定）
◆時刻表は今後の状況により変更となる場合があります。

◎問い合わせ先　小笠原海運株式会社　☎ 03-3451-5171

## さあ！母島へ行こう
### 母島への航路（ホエールライン）　（令和3年8月～令和3年12月）

母島沖港

母島は父島の南約 50km に位置しその広さは約 21k㎡です。
島の中央に乳房山（463m）があり島の周囲は 58km あります。
母島を観光される方は、下記の時刻表でぜひ訪島してください。

| 運航月 時　刻 | おがさわら丸 父島入港日 | おがさわら丸 父島入港の翌日 | | おがさわら丸 父島出港日 | おがさわら丸 父島入出港日 | | | その他の日 | | | 運休日 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 運航時刻 父島出港 | 12:00（12:30）↓ | | | 7:30↓ | 7:30↓ | 13:30↓ | 7:30↓ | 14:00↓ | 7:30↓ | | |
| 運航時刻 母島入港 | 14:00（14:30） | | | 9:30 | 9:30 | 15:30 | 9:30 | 16:00 | 9:30 | | |
| 運航時刻 母島出港 | | 14:00↓ | 15:00↓ | 12:00↓ | 10:30↓ | 16:00↓ | 10:00↓ | | 14:00↓ | | |
| 運航時刻 父島入港 | | 16:00 | 17:00 | 14:00 | 12:30 | 18:00 | 12:00 | | 16:00 | | |
| 運航月日 8月 | 28 (土) | 29 (日) | 5 (木)<br>12 (木)<br>19 (木) | 31 (火) | 7 (土)<br>14 (土)<br>※15 (日)<br>21 (土)<br>25 (水) | | 4 (水)<br>11 (水)<br>18 (水) | 2 (月)<br>9 (月)<br>17 (火)<br>23 (月)<br>27 (金) | 3 (火)<br>10 (火)<br>20 (金)<br>24 (火)<br>30 (月) | 6 (金)<br>13 (金) | 1 (日)<br>8 (日)<br>16 (月)<br>22 (日)<br>26 (木) |
| 運航月日 9月 | 3 (金)<br>9 (木)<br>16 (木)<br>22 (水)<br>28 (火) | 4 (土)<br>10 (金)<br>17 (金)<br>23 (木)<br>29 (水) | | 6 (月)<br>12 (日)<br>19 (日)<br>25 (土) | | | | 2 (木)<br>8 (水)<br>14 (火)<br>21 (火)<br>27 (月) | 5 (日)<br>11 (土)<br>15 (水)<br>24 (金)<br>30 (木) | 18 (土) | 1 (水)<br>7 (火)<br>13 (月)<br>20 (月)<br>26 (日) |
| 運航月日 10月 | 4 (月)<br>10 (日)<br>16 (土) 23 (土) は（　）の時刻で運航<br>30 (土) | 5 (火)<br>11 (月)<br>17 (日)<br>24 (日)<br>31 (日) | | 1 (金)<br>7 (木)<br>13 (水)<br>19 (火)<br>26 (火) | | | | 3 (日)<br>9 (土)<br>12 (火)<br>18 (月)<br>25 (月)<br>28 (木) | 6 (水)<br>15 (金)<br>21 (木)<br>29 (金) | 22 (金) | 2 (土)<br>8 (金)<br>14 (木)<br>20 (水)<br>27 (水) |
| 運航月日 11月 | 6 (土)<br>12 (金)<br>20 (土)<br>27 (土) | 7 (日)<br>13 (土)<br>21 (日)<br>28 (日) | | 2 (火)<br>9 (火)<br>15 (月)<br>23 (火)<br>30 (火) | | | | 1 (月)<br>8 (月)<br>14 (日)<br>19 (金)<br>26 (金) | 4 (木)<br>11 (木)<br>17 (水)<br>22 (月)<br>29 (月) | 5 (金)<br>18 (木)<br>25 (木) | 3 (水)<br>10 (水)<br>16 (火)<br>24 (水) |
| 運航月日 12月 | 4 (土)<br>11 (土)<br>18 (土)<br>24 (金)<br>30 (木) | 5 (日)<br>12 (日)<br>19 (日)<br>25 (土)<br>31 (金) | | 7 (火)<br>14 (火)<br>21 (火)<br>27 (月) | | | | 2 (木)<br>6 (月)<br>13 (月)<br>20 (月)<br>26 (日) | 3 (金)<br>9 (木)<br>16 (木)<br>23 (木)<br>29 (水) | 10 (金)<br>17 (金) | 1 (水)<br>8 (水)<br>15 (水)<br>22 (水)<br>28 (火) |

※ 8/15 はおがさわら丸父島入出港日の翌日です。
◆時刻表は今後の状況により変更となる場合があります。

◎問い合わせ先　伊豆諸島開発株式会社　☎03-3455-3090

帰ろう心の故郷へ！　行こう念願の島へ！！